



# NEWS LETTER

The Japan Nursing Ethics Association (JNEA)

## 日本看護倫理学会第14回年次大会のご案内

大会テーマ：「ケアの倫理を教える・学ぶ・実践する」

会期：2021年5月29日(土)・30日(日)

開催方法：Web開催

年次大会長：八尋道子 佐久大学看護学部・佐久大学大学院看護学研究科



2020年はナイチンゲール生誕200年の記念すべき年で、ICNとWHOによる3年間のグローバルキャンペーンがスタートしています。このような時に、会員、関係者の皆様方のご支援・ご協力のもと、栄えある本学会の年次大会を運営する機会を頂戴し心より感謝しています。

さて、大会テーマは、「ケアの倫理を教える・学ぶ・実践する」としました。COVID-19 pandemicの世界に、新しい物語が紡ぎ出されているまさに今だからこそ、互いに体験を語り合い、研究データを確かしつつ、ケアという在り方や行為について改めて考えてみませんか？

ケアの倫理は、目の前の状況に、第三者としてではなく、感情を伴う当事者として直接関わりながら、ケア対象と自分との相互的な関係に立ってとるべき行為を導こうとする看護倫理のアプローチです。1980年代以降に登場し、まだ歴史は浅く、それゆえに論争も多いですが、最近は、実践にとっても大事だと考えられています。

敬愛する恩師アン・デイビス先生は、「考えというものは、広く批判されることによって十分発達するものだ」と述べられました。看護の価値やケア実践の挑戦を語り合う対話的なプラットフォームとして、今大会を存分に活用していただきたいと思います。

大会をより豊かなものにするために、ケアの倫理と尊厳の論考で世界的に著名な、ベルギーの哲学者クリス・ガストマン教授をお招きします。徳としてのケアについても踏み込んで頂けるものと期待しています。また、市民公開講座のメインシンポジストは、NHKスペシャル「彼女は安楽死を選んだ」を報告されたスペイン在住のジャーナリスト宮下洋一氏です。最新の知見が得られる教育講演もお聴きいただきたいです。

大会開催は、オンラインに決定しました。Webのデメリットを払拭して皆様にワクワクしていただけるような有意義な方法を企画委員一同で探っています。会期、プログラム等は変更になる可能性がありますので、ホームページ上で随時お知らせをしていきます。

看護専門領域だけでなく他職種の方々や一般市民の方々も含め、是非とも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### 第14回年次大会@長野×Web

#### 重要期日一覧

演題登録期間：2020年11月9日～2021年2月1日

(口演・示説・交流集会)

事前参加登録期間：2021年2月1日～4月26日

(会員・非会員)

最新情報は、<http://procomu.jp/jnea2021/> をご覧ください

## 日本看護倫理学会第13回年次大会開催のご報告 大会長 吉川洋子

「看護倫理の明日を拓くー多様性を尊重するためにー」をテーマとした日本看護倫理学会第13回年次大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をうけ誌上開催と致しました。誌上での発表演題数は、口演とポスターセッション合わせて69題、交流集会7題でした。また、基調講演をはじめ、特別講演、大会長講演、2つの教育講演、シンポジウムや市民公開講座、参加型のプログラムとして看護倫理対話、母と子の倫理交流カフェ、倫理教育カフェを設けました。皆さまの協力を得まして誌上におきまして、講演の要旨、趣旨および発言概要を掲載いたしました。さまざまな形でご支援いただきました会員の皆さまに心より感謝申し上げます。

## 学会の法人化について（法人化検討委員会）

2008年6月に任意団体として設立された本学会は、2020年総会翌日の6月29日に、「一般社団法人 日本看護倫理学会」として新たなスタートをきりました。2018年11月に開催された理事会で法人化検討委員会を立ち上げてから4名の理事を中心に検討を重ね、定款案についての会員の皆様からの2回の意見募集を経て、2020年総会で任意団体の解散・法人移行について承認されました。これもひとえに、会員の皆様のご支援とご協力の賜物と感謝しております。法人化を機会に、看護倫理のさらなる発展を目指して、組織として社会的な責任を果たせるように、これからも真摯に看護倫理の諸問題に向き合い、会員の皆様と論じ合いながら活動していきたいと思っております。（八代）

## 各種委員会の活動報告

### 庶務

令和2年7月現在、会員数は951名（臨床機関52%、教育機関46%）です。学会活動へのご理解とご支援に、感謝申し上げます。

令和2年度の学会活動として、コロナ禍にあります、以下の活動を推進して参ります。

1. 第14回年次大会（長野県佐久市）の開催
2. 委員会活動の推進
  - ・ 学術論文早期公開の開始、学会誌の発行・発送（編集委員会）
  - ・ 魅力ある学会HPの検討、News Letterの発行・発送（広報委員会）
  - ・ 看護倫理に関するワークショップの開催、教材作成（学術活動推進委員会）
  - ・ ガイドラインの普及活動、見直し・改訂の検討（臨床倫理ガイドライン検討委員会）
  - ・ 情報収集、相談事項の対応（課題検討委員会）
3. 会員増強
4. 次年度活動計画（案）と予算（案）の検討
5. 次期役員・代議員の選出（選挙管理委員会）

法人化した組織の次期役員・代議員を選出する選挙が行われます。選挙へのご参加、宜しくお祈りいたします。（山下）

### 編集委員会

学会誌へのたくさんのご投稿をありがとうございます。すでにご案内の通り、随時投稿が始まっておりますので、成果がまとまった段階でいつでもご投稿できます。年内（2020年12月）に掲載が決定した論文を学会誌13巻1号（2021年3月発行予定）として、皆様にこれからお届けする予定であります。看護倫理の教育、実践、概念基盤の検討など、発展的で示唆に富む論考が多くなっていると感じております。

奇数月には、メールにて論文の早期公開もご案内しております。今までは、学会誌の発刊を待たなければ読むことができなかった論文を、迅速に公開し、看護倫理に関心のある方々に広く読んでいただけることは、大変うれしいことでもあります。

年次大会では編集委員会企画と題して、会員の皆様との交流を深めてまいりたいと考えております。

随時投稿に伴う編集作業について、できるだけ迅速に査読者の選定、査読が進むよう、試行錯誤しておりますが、会員のみなさまの熱心な研究活動の成果を読むことを通して、編集委員一同、新たな発見や気づきを得ております。

今後とも会員の皆さまのご投稿を心よりお待ちしております。（鶴若）

### 課題検討委員会

本年度の法人化に伴い、政策提言委員会から課題検討委員会に名称を変更し、併せて身近な看護倫理上の問題にも取り組んでいく方針を確認しました。その矢先に世界を混乱に陥れたコロナ禍に多くの看護職が巻き込まれ、大きな困難を抱えながら懸命に立ち向かっている姿が示されました。当委員会は、そのような状況における看護倫理上の問題の実情を一刻も早く学会の内外に伝えたいと考え、5月上旬に緊急調査を実施しました。学会ホームページに示すように、新型コロナウイルス感染者の受け入れにおいて、自分自身や家族への感染リスクへの不安を抱きながらも、医療専門職者としての責務をまっとうしなければならないという心の葛藤などが明らかになりました。課題検討委員会は、今後も非常時における倫理的課題への取り組み方など、様々な問題に取り組んでいく予定です。（太田）

### 学術活動推進委員会

臨床倫理ガイドライン検討委員会では、この数年間、5回に渡る研修会を開催することで、看護管理者への動機づけを展開しガイドラインの活用をはじめ、臨床での苦悩を共有、今後の活動展開に向けての情報交換と展望を明瞭にする働きかけを行ってきました。コロナ禍の影響で昨年度末企画の研修が開催できませんでした。今回は、「今、現場の身体拘束を考える」と題して、学会員限定参加のオンラインリアル研修（11月8日）を企画しました。皆様のあらゆる立場、あらゆる職場の方々との身体拘束をめぐる倫理的課題を軸に、現場の身体拘束の在り様を議論していきたいと考えています。そして、ガイドライン検討の更なる改定への課題を会員の皆様と共に見出していきたいと考えています。（北村）

### 臨床倫理ガイドライン検討委員会

学術検討委員会は、ようやく会員用サイトに掲示教材（第1弾）をアップ致しました。倫理的視点の共有の目的をもって、身近な課題を検討していく材料にと考えています。倫理をナラティブに伝え聞き、考える事や情報管理の重要性、SNSについての課題、自律性が低下している方へのケアを展開する領域の方々の悩み、身体拘束への課題など、日々、人々のケアを真摯に考えて悩む瞬間に、「あ、こんなこともあるのかな」と立ち寄って頂き、アンケートで御意見をお聞かせ頂きますと幸いです。今は、やはり、看護の中心に倫理があったと痛感する出来事ばかりで、専門職倫理を考えることばかりかと思えます。

これからも、看護倫理とは何か、皆様と共に考えていけるように尽力していきたいと思えます。（北村）

## MEDICAL FINDER 学会員特別アクセス権のご案内

本学会のウェブサイトjneanetでは、会員サービスの一環として2013年11月1日よりMedical Finderの提供を行っております。Medical Finderは医学書院が提供する学術論文全文検索サービスで、インターネットに接続できる環境があればいつでも、どこからでも「日本看護倫理学会誌」をはじめ「日本がん看護学会誌」「日本看護医療学会雑誌」「日本看護科学学会誌」「日本看護診断学会誌（看護診断）」「日本災害看護学会誌」「日本腎不全看護学会誌」「日本糖尿病教育・看護学会誌」「日本母子看護学会誌」「日本老年看護学会誌（老年看護学）」の閲覧、論文PDFのダウンロード、全文検索および串刺し検索ができる大変便利なサービスです。このサービスは日本看護倫理学会会員であれば無料で利用できます。研究・教育活動にぜひお役立て下さい。なお、本サービスのご利用にはIDおよびパスワードが必要で、1年ごとに更新されます。2021年用のIDとパスワードは下記になりますのでよろしくお祈りいたします。

ログインID \*\*\*\*

パスワード \*\*\*\*\*

有効期間 2020年12月1日～2021年12月31日